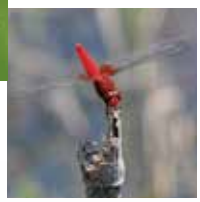
～「生物多様性ぶんごおおの戦略」の策定に向けて～

生きものあふれる田んぼと地域づくりシンポジウム

2016年
2/27（土）13:00～17:15　申込不要
会場：エイトピアおおの小ホール



豊かな自然に恵まれた
豊後大野の魅力を再発見！

毎日歩く小径も、
視点を変えれば
ミラクルワールド。

私たちにとって
当たり前の風景、
田んぼを
見つめなおしましょう！

ふるさとの自然こそ
私たちの誇りです。

このイベントは平成27年度
独立行政法人環境再生保全
機構地球環境基金の助成を
受けて開催されます

主催：NPO法人ラムサール・ネットワーク日本・豊後大野市・NPO法人おおいた水フォーラム・日本文理大学
共催：大分県祖母傾ユネスコエコパーク推進協議会

■ 豊後大野市の挑戦

大地の支え（ジオパークの取組）、そこに息づく生きものたち（ユネスコエコパークの取組）、これらを活かす仕組みづくり（生物多様性戦略）の 3 つの挑戦を続けています。豊後大野市に関わる全ての人が知恵を出しあい、共に活動し、将来に伝えていく、そんな元気なまちにしていこう！自慢せずにはいられない魅力いっぱい豊後大野。

■ 田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト

http://www.ramnet-j.org/tambo10/

アジアの田んぼは、多様な生きものを育む地球上の代表的な環境の一つです。各地で環境の劣化が進んでいますが、子どもや孫の世代も安心して暮らすためには、生きものと私たち人とが共に生きていく地域づくりがとても大切です。ＮＰＯ法人ラムサール・ネットワーク日本では、田んぼをキーワードにした地域づくりの提案として「田んぼ 10 年プロジェクト」を立ち上げました。今回のシンポジウムをきっかけに子どもや孫たちのためにやりたいことを「宣言」しましょう。元気な豊後大野の「宣言」がたくさん集まることを期待しています。

■ 生物多様性を育む農業国際会議 2016

今年 8 月 26 日（金）～28 日（日）に栃木県小山市で開催されます。田んぼに暮らす生きものへのまなざしを大切にしながら取り組む農家はもちろん、農協、流通･加工業者、消費者団体、研究機関など、豊かな自然と農業を両立させようと努力する人々が国内・外から集まり、熱い議論を行います。豊後大野からも元気いっぱいの報告をお待ちしています。

プログラム

■ 話題提供

豊後大野市商工観光課

■ 基調講演

呉地 正行（NPO 法人ラムサール・ネットワーク日本）
堀 彰男（滋賀県野洲市：須原魚のゆりかご水田協議会）
青田 朋恵（滋賀県湖北農業農村振興事務所田園振興課）

■ 現場からの報告

神志那 静清（三重町又井）
原尻 薫（緒方町井上担い手むらづくり協議会）
豊（ぶん）ジオ探検隊（三重総合高校）
渡辺 雪法（柴北川を愛する会）

■ 報告ナビゲーター ～現場からの報告をサポートします～

杉浦 嘉雄（日本文理大学工学部）
舩橋 玲二（日本文理大学環境科学研究所）

■ パネルディスカッション

コーディネーター 中村 俊彦（前千葉県立博物館副館長・千葉県生物多様性センター長）
パネラー 神志那 静清・原尻 薫・豊（ぶん）ジオ探検隊・渡辺 雪法・呉地 正行・堀 彰男・青田 朋恵